

発行 社会福祉法人  
徳島市身体障害者連合会



## 第50号記念号に寄せて

徳島市長 内藤 佐和子

社会福祉法人徳島市身体障害者連合会の機関紙「あゆみ」が、このたび記念すべき創刊第50号を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴連合会におかれましては、昭和25年に前身である徳島市身体障害者会として結成されて以来、70年以上の長きにわたり、本市の福祉行政の中心的役割を果たされ、地域福祉の推進に多大なるご貢献をいただいております。

これもひとえに、林理事長様をはじめ、貴連合会の皆様方の心温まるご尽力の賜物であり、深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げる次第です。

本市では、「多様性を認め合

える！個性あふれるまち』とくしまの創造」を基本目標のひとつに掲げ、障害者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らすことができ、地域社会でいきいきと活躍できるよう、障害者福祉サービスの充実に向けた施策を推進しているところで

す。今後とも貴連合会の皆様と連携を図りながら、障害者福祉施策のより一層の推進に努めてまいりたいと存じますので、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、社会福祉法人徳島市身体障害者連合会の益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



## 新年度を迎えて

理事長 林 徳太郎

今年度は、改装された徳島市役所新蔵分庁舎で迎えました。分庁舎は2階建てで、1階は本会が、2階は徳島市国際交流協会が入居しています。

本会の事務室及び相談室は、以前の徳島市社会福祉センターのときよりも広くなり、大会議室や多目的室もあり、事務事業を進めていく上で、随分と便利になりました。更に、多目的トイレも新設されるとともに、庁舎には珍しい枯山水のある日本庭園があります。

会員の皆様には是非ともお越しいただき、この風情を楽しんでいただくとともに、地区会やクラブ活動の場所として、安心してご利用いただけるのではないかと喜んでおります。

事務所移転に当たりまとめたこれまでの「本会のあゆみ」や開かずの押入れから出てきた「宝物」については、別稿でご紹介します。

令和2年1月に始まった新型コロナウイルス感染症により、昨年度も社会生活活動に

色々な制約が課せられました。

しかし、会活動は会員が顔を合わせ、交流を深めることが大切であるとの認識の下に、本会の基本施策を審議する役員会などはもとより、プラスポーツ講習会、プラスポーツ大会、人権問題研修会、福祉大会などコロナ対策を十分に講じながら開催してまいりました。

会員の皆様も積極的にご参加いただき、大きな成果を納めることができました。

四国の都市身体障害者会の交流と情報交換を目的に平成25年度から始まった四国都市身体障害者連絡会議につきましては、令和2年度、3年度に続き昨年度も中止という残念な結果になりましたが、これは仕方ないことだと思っております。

本会では、ICT時代に対応すべく、本会への登録申請や会員の方々からの相談事業をオンラインで行えるよう、ホームページを改修するとともに、Zoom会議を利用可能にする改

修も、昨年度末に行いました。新型コロナウイルス感染症の終息が待たれますが、コロナ禍に負けることなく、本年度はICTの活用といった新しい環境もうまく取り入れ諸事業を進めてまいりたいと考えております。

本年度は、理事及び監事の任期満了に伴う改選が控えております。これまで本会の主要な役割を担ってこられた方々が段々と高齢化していますが、若い後継者が中々現れないのが現状です。

本会が、未来に向かって力強く歩んでいくためにも、登録会員の数を増やしていく必要があります。会員の皆様には、引き続き本会の活動になお一層のご支援を下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様方にとって本年度が素晴らしい年でありますよう祈念いたします。



トクシ

## 各単位団体の活動状況

## 肢体障害者会

会計 八幡 恵

本会は、市内に在住する肢体障害者の自立と社会参加の促進を図り、会員相互の友好を目的として活動を行っています。

## 令和4年度活動報告

## 一、四肢の日記念福祉大会

令和4年当初には新型コロナウイルスのオミクロン株による感染拡大がみられ、4月に予定していた四肢の日記念福祉大会は、3年連続で中止となりました。

## 二、理事会・評議員会

6月12日(日)に市社会福祉センターで開催しました。令和3年度事業報告及び収支決算、令和4年度事業計画及び収支予算について議決を頂きました。このうち歳入については、連合会の財務状況が悪化していることから、本会への助成金も大幅な減額となりました。自主財源のない本会としては、コロナ後の活動再開にあたって合理的な事業運営をしていく必要があります。

## 三、新春今年も元気で会

令和5年1月22日(日)に県立障がい者交流プラザで開催しました。新型コロナウイルス第8波に対する懸念もありましたが、政府による行動制限もなくなっており、3年ぶりの開催です。すっかり出不精になっていったのか令和元年度と比べて約3割減の29名の参加でした。それでも久しぶりの交流会ということもあって、参加者の方々はそれぞれにコロナ禍での生活や物価高対策、メダカの話にハーモニカの話など予定時間をオーバーしていろいろ話してくれました。また最後に岡山茂幸さんのトランプペット生演奏を聴くことができ、つくづく行動制限がないのは楽しいことだなと感じました。

また開催に当たり、フードバンク徳島様からのご支援、徳島文理大学の学生さんのボランティア協力を頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。

## ◇今後の課題

本市には、肢体不自由、内部障害合わせて約8千名の身体

障害者手帳の所持者がいます(令和3年度)。しかし肢体障害者会が把握できているのは、そのうち5%にも満たない約400名です。その会員の方も高齢化やコロナの影響で年々活動への参加者が減少しています。一方で個人情報保護の壁に阻まれ、新規の会員加入は、困難を極めています。登録会員の減少を食い止めるためには、肢体会の行事について新聞等で紹介してもらうなど、不特定多数に向けた発信が必要と思われます。

## 新春今年も元気で会 風景



## 聴覚障害者会

会長 港 博義

本会は、市内に在住する聴覚障害者のための社会的地位向上と、情報保障・福祉増進を図り、また会員相互の友好を目的として結成し、名称を「徳島市聴覚障害者会」としています。

## 令和4年度活動報告

## 一、定期総会

(令和3年度決算事業報告) 徳島県立障がい者交流プラザで、問題なくスムーズに終わることが出来ました。

二、毎年人気のある春のボーリング大会と、秋のパークゴルフ大会では、身体を動かすことが好きな人がたくさん参加しました。(厚生部)

三、女性部の企画のひとつとして、料理教室を毎年行っていました。引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年も中止させていただきました。手話のできる講師さんが一人しかいませんので、なかなか連絡が取れず、会員の皆さんにご迷惑をかけてしまい申し訳ございません。会員の皆さんに喜んでもらえるように料理教室に代わり楽しいイベントを考えていますのでよろしくお願いします。(女性部)

四、寒い冬はみなさんでお風呂に入って体を温めようという企画を立てました。あらたえの湯(田宮)で入浴して美味しい食事をしていただきながら楽しい時間を過ごしました。「ゆっくりのお風呂は気持ちがいいね」と大好評でした。今年も同じような企画を立てたいと思います。

2020年に新型コロナウイルスが世界を一変させ、そこからすでに3年が経とうとしています。我々を取り巻く環境が大きく変わりました。コミュニケーションツールを見直す動きが広がっています。「zoom」などのweb会議ツールを利用する動きも広がっています。しかし、テレビ画面には話し手だけが映り、通訳が見えない状況が続いているなど、まだまだ問題点が多くあるように思います。法的な未整備が大きく起因して施策が遅れているのは明白です。障害者権利委員会が昨年9月に日本政府に「手話を公用語として法律で認めること」との勧告を出しました。私たちは誰よりも「手話言語法」の実現を強く願っています。

最後に、皆様にとりまして、兎年がピョンピョン拍子で何事もうまくいく年になりますようお祈り申し上げます。



## 視覚障害者会

会長 北川 和彦

本会は、市内に在住する視覚障害者の社会的地位の向上と福祉の充実を図り、会員相互の友好と親睦を目的として、結成されました。

### 一、視覚障害者会の行事

新型コロナウイルス感染症の終息とはなっていないが、感染対策をしながら行事を進めることとしました。

### ① 定期総会

新型コロナウイルス感染症のため実開催できていなかった総会を、3年ぶりに会員同士顔を合わせて開催できました。

前年度の事業報告・一般会計報告・監査報告、また、今年度の事業計画(案)・一般会計予算(案)について承認を得ました。

### ② 第53回「目の日記念」福祉大会

1部では、簡単な式典  
2部では、コロナ禍にあつて運動不足を補うものとして「ストレッチングの重要性について」と題して、理学療法士の松浦康氏から実技も併せて講演していただきました。

### ③ 社会見学研修会

県西部の「加茂の大楠」を見て、その姿から自然の大きさの一端を感じることができました。道の駅とサービスイリアなどでショッピングなどをして交流を深め、久しぶりの楽しい一日を過ごしました。

### 二、部会の活動

「かがやき部」「さつき部」の行事は、新型コロナウイルス感染症のため中止しました。

### ① サウンドテーパーテニスクラブ

徳島市ふれあい健康館及び徳島県立障がい者交流プラザにて、日曜日に練習し、選手を各大会へ出場・派遣しました。

### ② グランドソフトボールクラブ

徳島県立徳島視覚支援学校グラウンドにて、日曜日に練習を行い、選手を各大会へ出場・派遣しました。

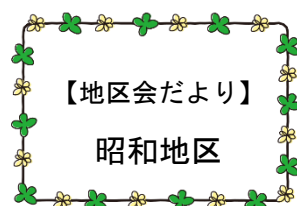
### 三、市身体障害者連合会の行事

パラスポーツ大会、第43回福祉大会等に参加しました。

### 四、他団体との交流

徳島の盲導犬を育てる会の盲導犬啓発イベントへの参加  
五、今年度の行事

昨年度も十分活動ができましたので、今年度はできるだけ通常に近い活動ができるようにと願っています。他団体との交流も深めていきたいと思っています。



【地区会だより】

昭和地区

昭和地区 会長  
富永 重行  
Tel 088-622-9052

### コロナ禍での地区会活動について

コロナ感染の為に過去2年間「総会」を中止していましたが、連合会及び地区社協から助成金を頂きながら地区会の最大の行事を3年間も中止する事が心苦しく感じ、令和4年10月に開催致しました。参加者は12名でした。

開催にあたり過去の総会では、お弁当を食べながら懇談していましたが、コロナ感染予防のため食事と懇談もやめて、地区会の活動報告・会計報告などを行う短時間開催としました。

なお、昭和地区では、パソコンの勉強会を令和3年秋から行っています。毎月第2土曜日の午前中、無料での開催です。

4月からは、パソコンだけでなく、スマホ・タブレットの勉強会も開始する予定です。

これらの機器の使用で、解らないことがあれば教えてもらえます。今は参加する方が減少していますので、昭和地区以外の方でも参加は可能です。興味のある方は富永まで連絡してください。



### コロナ禍の将棋クラブ

栗尾 昭彦

2020年1月16日から、感染拡大防止のため自粛の気運が高まり、毎月第4日曜日に行われていた月例会も、1月26日を最後に休止に入りました。対面で対局するだけに、休まざるを得ませんでした。今年、令和5年となり、4年目に入りましたが、未だ終息の目処は立っていません。県下で、年に10数回行われていた大会も全て中止となり、力を発揮する場もありませんでした。

昨年からは、全国大会の県予選が万全の態勢で数回行われましたが、県下のトップクラスのA級のみ集いで、B級・C級は人数制限により除外されました。県の将棋大会の世話人も、神経をとがらせての開催だったと思われます。

身障将棋クラブも、病気がちであったり多くが高齢者ということで、入院・施設入所・手術等で、この3年間駒を持つ機会もなく、コロナの終息の声が聞こえても、将棋への情熱が薄れてしまわないかと危惧しております。

日本全体が、落ち込んでいた中で、将棋界に明るい話題を提供してくださったのは、時の人、藤井聡太さんでした。中学生でプロになり、八つあるタイトルのうち、4〜5年の間に五つ(2023年3月10日時点)を手にし、残り三つも、手にする可能性があるそうです。150人前後のプロ棋士の中で、現役の時に一つのタイトルでも手にできるのは、ほんの一握りです。羽生善治さんが、30年近く前に七つあるタイトルを全て獲得しましたが、藤井聡太さんは、一つ多い八つのタイトルを手にしようと挑戦しているのです。これからも、ニュースで顔を拝見する事が、増えると思われます。コロナの不安から一日も早く解消されて、マスク無しで、対局できる日を待ち望んでいます。





## つぶやき

新型コロナウイルスの感染発生から  
本年度三年。

今年こそ収束し、  
定まらない。今年こそ収束し、  
新しい事務所移転を機に、本会  
の企画した活動が出来る事を  
願いたい。

藤川 義男

正月飾りを大麻比古神社(明  
神さん)へ、納めに参りました。  
以前から気になっていたの  
で、居合わせた宮司さんに神社  
についてお聞きしました。

おおあさ比古神社と言っ  
ているが、正式名称は、おおま比  
古神社だそうです。  
知らなかった(笑)

フリーランス

昨年10月、ロシアによるウ  
クライナ侵攻の終結を祈るジ  
ャズライブに誘われた。県内在  
住のウクライナ女性3人が招  
かれて…。

強烈な音響とリズムの後、ア  
ンコールは、ともしび、カチュ  
ーシャ、トロイカなどロシア民  
謡ばかり。平和を語るのは難し  
い。

吟鳳

障害という字は、害は「がい」  
というひらがなを書くと言っ  
ていたのでは、ないのでしょうか？

人権研修でも個人的なとい  
う言葉を使っていたが、  
「障害」と使わずに、「個人的」  
と使ったかどうか？

(…)

文化センターに続き、社会福  
祉センターまで壊されようと  
しています。

大きなホールが出来るのは  
良いと思いますが、高齢者や障  
害者が集う福祉センターだけ  
でも残してほしい。

きぼう亭 ハッスル

一昨年から家庭菜園を始め  
ました。ミニトマト、ミニ白菜  
、里芋、いちご、ほうれんそう  
、オクラ、ねぎ等々。

市販のものとは一味違っ  
て美味しく感じるのは何故なの  
でしょうか？

十三三



トクシイ

## いちご一会とちぎ大会

に参加して

田村 茂美

「夢を感動へ。感動を未来へ。」  
をスローガンとする第22回全  
国障害者スポーツ大会のフラ  
イングディスク競技に、令和4  
年10月29日(土) から3日間  
参加しました。

8月に肋骨を骨折し、最終打  
合せ会、強化練習に顔出しする  
のが精一杯の状況でした。

コロナの影響で、出発前から  
そして栃木県に行つてからも  
抗原検査・検温は続きました。  
コルセットしているから大  
丈夫と自分に言い聞かせ、練習  
してみますと思うようにディ  
スクが飛んでくれません。

ディスクは身体をひね  
って飛ばすので肋骨のコルセ  
ットで遠投ができず(21m 47  
cm)、第6位に終わってしま  
いました。

それでも、アキュラシーディ  
スリート・ファイブ(8投)で  
第3位、銅メダルを獲得  
することができました。



## 全国レクリエーション

大会のお知らせ

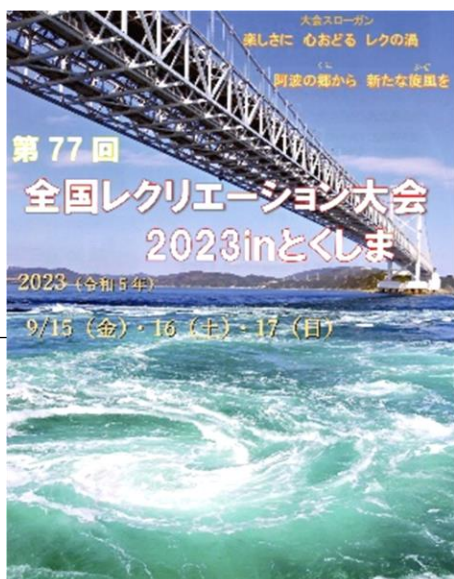
岡山 千賀子

NPO 法人徳島県レクリエー  
ション協会会長の岡山です。  
本協会では、皆さんの健康  
増進・健康寿命の延伸などを  
目的とし、心を元気にするレ  
クリエーション活動を推進し  
ています。



さて、第77回全国レクリエ  
ーション大会が48年ぶりに  
徳島県で開催されます。

9月15日(金)・16日(土)・17日(日)の日程で、



20種目のスポーツ・レクリエ  
ーション交流大会や特別協賛  
行事など盛りだくさんのイベ  
ントを県内各地で行います。  
珍しいニュースポーツやボ  
ードゲームなど、レクリエー  
ションならではの体験がで  
きます。

事前申し込みが必要ですが、  
この機会にぜひ皆さんも一緒  
にレクリエーションを楽しみ  
ませんか！

◆総合開会式：9/15(アステ  
イトくしま)

◆心おどるレクリエーショ  
ン体験ひろば・レクリエー  
ション吹矢体験：9/16・9/17  
(藍場浜公園・とくぎんト  
モニアリーナ第2競技場)

※申し込みは必要なし

◆車いすダンス・マンカラ  
大会：9/17(徳島文理大学)



## 徳島市パラスポーツ 講習会に参加して

川尻 浩一

私は、視力障害（弱視）で、視力障害者の参加は、私を含めて7名（弱視4名・全盲3名）でした。

今回実施された種目では、同様な体験はしていますが、私達視力障害者は、的までの距離、大きさ、型などを把握するのに時間を要することがあります。そんな中で、全盲の方が、数回目で的に命中したり通過した時の笑顔が印象的でした。

初参加された方も、「大変楽しかった。来年もあれば参加したい。」と言われておりました。私達が参加しやすい卓球バレーなどの種目追加等の希望はありますが、時間制限もありもう少しやってみたいと思う講習会でした。

今年も開催されれば、できるだけ参加したいと思います。



R4.7.24 講習会 風景

## 徳島市パラスポーツ 大会に参加して

津村 佳代子

毎年行われていた「徳島市障害者スポーツ大会」が名称も一新して第55回「徳島市パラポーツ大会」として3年ぶりに令和4年11月20日（日）「とくぎんトモニアリーナ」で行われました。

ただ、コロナ禍の影響で参加者はいつもより少なかったため、競技参加者を集めるのに苦労しました。

親の会の本人も保護者の方も、全員に参加して頂きました。車イスリレーに参加した人は、自分は車イスに座り、別の人が押してくれる競技と思っていたらしく、いざ乗ってみると車イスがこげません。進むことも廻る事も四苦八苦、車イスに乗るような病氣もケガもしたことがなかった元気な方だったのでしょうか。

いくつかの競技に参加して、久々に皆とおしゃべりを楽しんだり、大笑いをしたりして楽しいひとときを過ごさせて頂きました。早くコロナが終息して大勢の参加者が集まり、パラスポーツ大会が開催されますことを願っています。

お世話をして下さった連合会の事務局、各種ボランティアの団体の皆様方、本当に有難うございました。

### 選手宣誓



### 福祉大会 盛大に開催

連合会主催の福祉大会が、令和5年2月5日（日）徳島市生涯福祉センターで開催されました。

例年だと秋期開催ですが、昨年度は9月に事務所が、新蔵分庁舎に移転することが決定していたので、延期しました。

3年ぶりの開催で、参加者を気にしていましたが、予想を超える約110人という大勢の方々が参加されました。

第1部 記念式典には、内藤 佐和子市長、宮内春雄市議会議員のほか4名の方々の御臨席を頂きました。

式典では、永年にわたり事務局長として連合会を支えてくださった英通義様ほか5名の方々に感謝状又は表彰状が授与されました。

第2部は、国内外で多彩な演奏活動を展開されているサクソフオーン四重奏「クワチュール・ベール」の演奏会。

前半は、モーツアルト、バッハ、ドヴォルザークなどのクラシック、後半は昭和歌謡メドレーに聞き入りました。



### 人権問題研修会

令和5年1月8日（日）に、身体障害者相談員研修会を兼ねて、人権問題研修会を開催し、連合会の役員、地区会長、相談員、事務局職員等を合わせて26名が参加しました。

今年度の研修会では、徳島市人権教育・啓発講師団講師の西岡康仁氏を講師に招聘し、「身近にある様々な人権問題から学ぶ」というテーマで講演をしていただきました。

西岡講師には、主に障害者の人権について分かりやすく解説していただくとともに、自らの体験談を交えて説得力のある情報発信をしていただきました。

価値観の変化や技術の進歩により、ますます多様化・複雑化する人権問題に対応するため、今後も継続して研修会を開催し、人権意識を高める取り組みを行っていきます。



開かずの押入から宝物



トクシイ

昭和52年から45年間、事務所を置いてきた市社会福祉センター。センターには、長い間使われていない大きな押入れがありました。

センターの取壊しに当たり、管理受託者として最終整理のため、入っている物を全て出すと、各種各様の物が大量に出てきました。色々な団体が利用していた押入れで、入れたまま忘れ去られていたのでしょうか。

その中に、当連合会に関係するものとして、徳島民報社(注)寄贈の「徳島盲人会」旗、「財団法人徳島市身体障害者連合会」旗、そして昔を思い出させる古い「アルバム」多数。

記憶から抜け落ちているものばかり。しかし、歴史を伝える大切なものです。多くの方々に見ていただきたい。そして、後々までも伝えていかなければならないと思っています。

(注) 徳島民報社

戦後、徳島市に社屋のあった新聞社。昭和29年10月、徳島新聞社に吸収合併される。



古いアルバム



財団法人時の連合会旗



徳島盲人会旗

徳島市における身体障害者会のあゆみ

- 1 昭和25年10月、傷痍軍人会、視覚障害者会及びろう者協会の3団体で徳島市身体障害者会が結成される。当時、伊月町2丁目にあった盲人会館を身体障害者会館とし、同会館で活動を開始する。
- 2 昭和32年1月、徳島市肢体障害者会が結成される。
- 3 昭和35年3月、傷痍軍人会、視覚障害者会、ろう者協会及び肢体障害者会の4団体で徳島市身体障害者連合会(以下「連合会」という。)が結成される。
- 4 昭和36年3月、連合会の事務所として、身体障害者会館が徳島中央公園の北東部、助任川沿いに、徳島市により新築される。木造平屋建てで約45坪。敷地面積は、約100坪であった。
- 5 昭和47年5月、設立以来連合会は、傷痍軍人会、視覚障害者会、ろう者協会及び肢体障害者会の4団体で構成されていたが、時世の移り変わりなどから、傷痍軍人会を削除する規約改正が行われた。
- 6 昭和52年4月、社会福祉センターが建設され、連合会の事務所を同センターに移転する。
- 7 昭和54年1月、連合会は財団法人になる。
- 8 平成25年4月、連合会は社会福祉法人になる。
- 9 令和4年9月、市役所新蔵分庁舎に連合会の事務所を移転し、同年10月から同庁舎で仕事を開始する。

知事表彰を受賞して

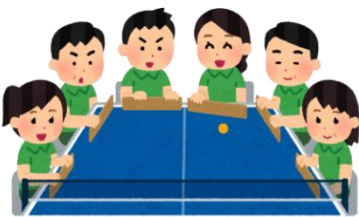
川尻 浩一

私は、今回視力障害での県知事賞を、令和4年12月10日に受賞しました。誠に光栄に思っています。

令和5年2月9日に突然の訃報、県視連会長「久米清美」氏が急死、私達視力障害者は、大変お世話になりました。また様々な事にも御尽力して下さいました。

その会長から、今回の県知事賞の受賞報告を受けた時は、本当に「私ですか?」と問い直しました。

この賞を受賞した事で、より一層精進し、微力ですが、今後何かと皆様のお役に立てる様に努力していきたいと思っています。今回このような賞を頂き、本当に有り難うございました。



榮譽を讃えます



中・四国身体障害者福祉大会会長表彰

北川 和彦  
(令和4年11月11日)

徳島県身体障害者福祉大会県知事表彰

川尻 浩一  
(令和4年12月10日)

徳島市身体障害者福祉大会理事長・名誉会長表彰

佐條 和美  
浅野 高弘  
清水 定子  
三好 佳代子  
英 通義  
三木 清美  
(令和5年2月5日)



## あゆみ園だより

園長 島谷 淑子

令和五年に入り、なやまされ続けたコロナもやつと落ち着いてきました。中止されていた各行事も少しずつ開催され、ほつとしています。

あゆみ園のお弁当事業、藍染事業もコロナに負けることなく、順調に進んでおります。通所されている利用者の皆さんも皆んな元気にがんばっています。

あゆみ園では、調理の好きな方や弁当の盛付が出来る利用者さんを募集しています。仕事してみたいと思われる方は、いつでもご相談に応じますので、あゆみ園又は徳島市身障連合会事務局にご連絡ください。毎日でも大丈夫です。一緒にがんばってみませんか。

地域活動支援センターの会員も募集しています。楽器演奏、歌(第1・第3木曜日午後)茶道毎週金曜日午前・午後、それぞれ楽しく練習していますので、興味のある方は参加していただけばうれしいです。

お茶は椅子式ですので、正座の必要はありません。年2回くらい発表会があります。一度のぞいて見て下さい。



お茶室

あゆみ園は会員皆様のたくさんのご協力、ご支援のおかげで今まで進んでまいりました。今後共あゆみ園を応援していただきますようよろしくお願い申し上げます。

## 手作り弁当を

配達いたします！

所長 山口 聖雄

徳島スローワークセンターあゆみ園新館が竣工オープンして、おかげさまで6周年を迎えようとしています。ご利用者、ご家族、地域の皆様等のご支援に心より感謝申し上げます。

あゆみ園の主要な仕事の一つとして弁当の製造販売を行っています。毎日平均約100個を製造し、徳島市役所、裁判所、徳島合庁など官公庁を中心に、近隣団体等にも配達して



あゆみ園 新館

います。管理栄養士による栄養バランスを考えての豊富な献立から作られる日替わり弁当。一つ一つ手作りにこだわり心をこめて調理しています。そんな手作り感満載の弁当の味がお客様に気にいってもらえたのか、朝、電話注文を開始してから早々に完売となる日もみられるようになりました。現在、職員と一緒に調理室で盛付けなどで働いている利用者は5名、弁当配達の利用者は2名で7名の方が毎日忙しい中にも和やかに仕事に励んでいます。利用者の皆さんが楽しく和やかに働けるような職場となるよう職員一丸となって心をこめて支援していききたいと考えています。

## 藍に出会って

あゆみ園指導員 谷野 雄治



藍の色は神秘的です。黄土色から空気に触れると、緑から藍色へ変色していきます。

染め、水洗い、乾燥、包装の過程は、あゆみ園利用者さんとの共同作業です。

なお、藍はとても繊細で、熟練者の園長は温度やPHなど、とても気を使っておられます。

藍染のお手伝いをするようになって3年、イオンなどであゆみ園の商品を見かけると嬉しくなります。

藍染商品で、安定した収益を上げるには、新商品や販売方法等いろいろと考えていく必要がありますが、一番は新規販売先の開拓だと思っています。

あゆみ園ブランドとして広く認知されるよう、職員・利用者一丸となって、取り組んでいきたいと考えています。

## 徳島コクリコ様から

ご寄付

戦中・戦後に朝鮮人男性の妻として朝鮮半島に渡った後、死別するなどして身寄りをなくした日本人女性のための施設・慶州ナザレ園。

この園の入居者の食費や生活費を支援するため、徳島コクリコは、ハーモニカやオカリナなどによるチャリティコンサートを開催し、支援活動を続けてきました。

時は移り、園の入居者も少数となるとともに、コクリコのメンバーも高齢化し、この度支援活動を終えました。

去る2月1日、コクリコ代表・木下充子様からあゆみ園に、支援活動を終えて手元に残った17万円をあゆみクラブにご寄付いただきました。ありがとうございます。

このことは、徳島新聞(令和5年3月6日)紙上で、大きく報じられました。



## 令和4年度実施行事

新型コロナウイルスの感染対策を徹底して実施しました。  
主な行事は次のとおりです。

## ●理事会

とき 5月28日(土)

## ●定時評議員会

とき 6月12日(日)

## ◆パラスポーツ講習会

とき 7月24日(日)

## ◆パラスポーツ大会

とき 11月20日(日)

## ◆人権問題等研修会

とき 1月8日(日)

## ◆市身連福祉大会

とき 2月5日(日)

## 令和5年度行事予定

## ◆パラスポーツ講習会

とき 7月23日(日)

## ◆パラスポーツ大会

とき 11月5日(日)

## ◆市身連福祉大会

とき 12月3日(日)

## ◆人権問題等研修会

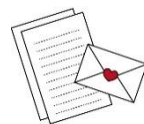
とき 1月7日(日)

総合福祉センター

## フードバンク様

ありがとうございます

ある地区身体障害者会会長様から頂いた、お手紙を紹介いたします。



いつもお世話になりありがとうございます。

此の度は又々フードバンク様の御支援で沢山の食料品を頂戴し、ありがとうございます。命が繋がるといって大げさかもしれませんが、満足な食料の不足なこともあり悔しい思いをする事もないでなく、食料品を頂戴することは、とても身にしてみても有難く感じます。地区の会員に配ります。

(抜粋)



お米・ラーメン等

## 吹矢同好会遂に解散

林 徳太郎

平成10年4月、スポーツ吹矢という競技のあることを知った。当事、県ノーマライゼーション促進協会のスポーツ委員長をしていた私は、どのような障害があってもできるスポーツを探していた。

息をしている限り出来る。早速創始者の長岡市在住樋口裕乗先生に連絡をとり、吹き筒、矢などを購入した。先生からは、吹矢について解説した御著書を頂いた。

同志を募り、練習を重ね、平成10年10月10日とくしまスポーツ吹矢同好会(池添章会長)が発足した。

会の活動状況が徳島新聞夕刊(平成13年5月17日)に大きく報じられ、吹矢ブームが起こり、県下から練習会などに参加する人が増え、結成時10人だった会員は40人にもなった。その後、樋口先生とも相談し、会の名称を「とくしま国際吹矢道同好会」に改めるとともに、「国際吹矢道協会徳島県本部」として、活動を広めることとなった。立派なトロフィーを男女別に作り、徳島県吹矢道選手権大会を開催してきた。

第1回大会は、平成18年3月19日に、国際吹矢道協会副

会長、医学博士の樋口裕乗先生をお迎えし、講演会、模範演技をしていただいた。池添会長は、随分頑張られ、隆盛期が続いたが、ご高齢で会長を退かれ、私も多忙で練習会などに出席できなくなった。

後任会長には、白浜隆宣氏になり、長い間頑張ってこられたが、病に倒れた。その後、お世話をする人も現れず、令和4年5月末で会を解散された。すべての後始末をされた白浜会長の奥様白浜知子様から、あゆみクラブに残余財産40万16円のご寄付が、連合会に持回りのトロフィー2個と印鑑の寄贈があった。ありがとうございます。発会から24年間、皆様ご苦勞様でした。

## 事務局だより

令和5年4月から、島田洋美が新参事として一緒に働くことになりました。

これまでと同様に、会員皆様のために頑張っています。



新蔵分庁舎

## 徳島市身体障害者連合会

〒770-0855 徳島市新蔵町1丁目88番地

TEL 623-3065 / FAX 624-5387

HP <http://tokushishinren.main.jp/>

E-Mail [tokusisinsyoren@vesta.ocn.ne.jp](mailto:tokusisinsyoren@vesta.ocn.ne.jp)

## 徳島スローワークセンター あゆみ園

〒770-0941 徳島市万代町6丁目41-20

TEL 625-9155 / FAX 625-9156

[http://tokushishinren.main.jp/ayumi\\_annai.pdf](http://tokushishinren.main.jp/ayumi_annai.pdf)

E-Mail [ayumien@theia.ocn.ne.jp](mailto:ayumien@theia.ocn.ne.jp)